

2021年11月8日
株式会社東陽テクニカ

「第23回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」出展 ～「国際水産養殖技術展」で“持続可能な漁業”をテーマに 最新の水産計測技術を紹介～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也^{こうの としや}、以下 東陽テクニカ)は、本日2021年11月8日(月)からの三日間、東京ビッグサイトで開催される「第23回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」で同時開催の「国際水産養殖技術展」に出展いたします(ブース番号：M-38)。東陽テクニカのブースでは、“持続可能な漁業”をテーマに、養殖設備メンテナンス用の水中ドローンや水産資源の適正な採集を可能にした資源量調査3Dソナーを中心に展示、ご紹介いたします。

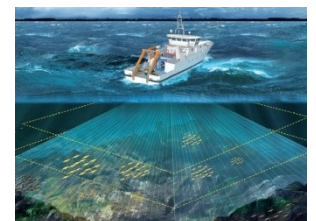
【 イベント概要 】

- 開催 展 名：第23回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー 「国際水産養殖技術展」
- 会 期：2021年11月8日(月)～11月10日(水) 10:00～17:00 (最終日は16時まで)
- 場 所：東京ビッグサイト(南展示棟)
- ブ ー ス 番 号：M-38
- イベント公式サイト：<https://www.seafood-show.com/japan/>

【 主な展示製品 】

● 水産資源量調査3Dソナー「SeapiX」(iXBlue社製)

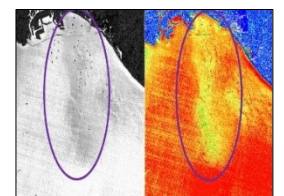
マルチビーム測深技術を応用した3次元計量魚群探知機で、乱獲・混獲投棄魚を抑え、持続可能な漁業を支援する装置です。



「SeapiX」操業中のイメージ

● 汚染物質 発見／監視プラットフォーム (Fregata Space社製)

24時間リアルタイムでの海洋上の汚染物質の検出や赤潮の早期発見／拡散予測が可能な画像を提供する衛星画像解析サービスです。



提供画像イメージ

● **高機動性水中ドローン「SRV-8」(RJE Oceanbotics社製)**

潜水士の代わりに水中の調査が可能な無人探査機(ROV)。水中での機敏な動きに加え、操作が容易な点も大きな特長です。



「SRV-8」製品画像

● **2周波音響カメラ「ARIS」(Sound Metrics社製)**

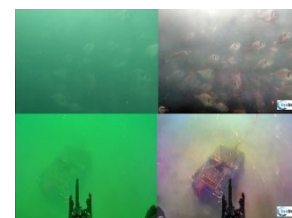
水中で超音波を使用して光学カメラでは見えなかったものを詳細に観察することが出来る音響カメラです。ライト無しでの夜間、濁水中での生態観察が可能です。



「ARIS」製品画像

● **水中動画鮮明化ソフトウェア「SeaErra」(SeaErraVision社製)**

水中カメラの映像を、AIを使ってリアルタイムに画質改善してくれるPCベースのソフトウェアで、沿岸養殖施設内の資源生育管理に効果を発揮します。



提供画像イメージ

◆ **出展お知らせページ** : <https://www.toyo.co.jp/kaiyo/seminar/detail/id=34821>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ **本件に関するお問い合わせ先** ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 マーケティング課

TEL : 03-3279-0771(代表)

E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。